# 福岡市総合図書館映像ライブラリーNEWS

**■特別企画**

**■ぴあフィルムフェスティバルin福岡**　9月4日(水)〜9月8日(日)
主催　ぴあフィルムフェスティバルin福岡実行委員会・福岡市総合図書館・ぴあ株式会社

**■アジア映画人会議**　9月13日(金)〜9月15日(日)
主催　アジア映画人会議実行委員会・福岡市総合図書館

**■韓国映画祭〜知られざる映画大国〜第2期：韓国映画の流れⅠ**　9月14日(土)〜9月23日(月・祝)
主催　韓国映画祭実行委員会・福岡市総合図書館・朝日新聞社・KBC九州朝日放送

**■特集**
50年代の日本映画　9月25日(水)〜9月29日(日)

浮雲

'96 SEPTEMBER 9
Vol.3

## 特別企画 ぴあフィルムフェスティバル in 福岡

自主制作映画・学生映画の日本最大のコンペティションである、ぴあフィルムフェスティバル。第1回の福岡上映は歴代のグランプリ作品を中心に大特集、監督のワークショップ等によりPFFの全容を紹介する。

会　期：9月4日（水）～8日（日）

観覧料：1,000円（当日1回券）　800円（前売り1回券）　3,500円（5回券）
定員制・各回入替制、前売券はチケットぴあにて発売。

主　催：ぴあフィルムフェスティバルin福岡実行委員会・福岡市総合図書館・ぴあ株式会社

### 上映作品及びタイムテーブル

**9月4日（水）**

16：30　PFF受賞作セレクション
「寮内厳粛」
1994年　カラー　16ミリ　18分　監督　佐藤信介　'94年グランプリ
「世界が静寂だったらいい」
1995年　カラー　8ミリ　81分　監督　小笠嘉士　'95年審査員特別賞ほか

19：00　石井聰亙スペシャル
「シャッフル」
1981年　カラー　35ミリ　35分　監督　石井聰亙
「Tokyo Blood」
1992年　カラー　35ミリ　35分　監督　石井聰亙
※石井監督のトークショーあり

**9月5日（木）**

14：15　PFF受賞作セレクション
「東村山8ミリ劇場／男心女心」
1995年　カラー　8ミリ　53分　監督　若泉太郎　'95年撮影賞
「夕辺の秘密」
1989年　カラー　8ミリ　51分　監督　橋口亮輔　'89年グランプリほか

16：30　PFF受賞作セレクション
「魚の眼」
1995年　カラー 16ミリ　27分　監督　辻則行　'95年録音賞
「雨女」
1990年 カラー　8ミリ　72分　監督　矢口史靖　'90年グランプリ

19：00　PFF受賞作セレクション
「三角測量」
1989年　カラー　8ミリ　53分　監督　北山裕章　'89年グランプリ
「電柱小僧の冒険」（ビデオ・リミックス版）
1988年　カラー　8ミリ　45分　監督　塚本晋也　'88年グランプリ

**9月6日（金）**

14：15　PFF受賞作セレクション
「ちまたに雨のふるごとく」
1995年 カラー　8ミリ　30分　監督　佐分克敏　'95年優秀賞ほか
「ストレンジ　ハイ」
1993年　カラー　8ミリ　61分　監督　水戸ひねき　'93年グランプリ

16：30　PFF受賞作セレクション
「灼熱のドッジボール」
1992年　カラー　16ミリ　15分　監督　古厩智之　'92年グランプリほか
「ほがらかな金魚たち」
1991年　カラー　8ミリ　81分　監督　岡元洋　'91年グランプリ

19：00　PFF受賞作セレクション
「花」
1989年　カラー　8ミリ　24分　監督　小池隆　'89年グランプリ
「さようなら映画」
1995年　カラー　ビデオ　34分　監督　大月奈都子　'95年グランプリほか
「紫の 部分」
1991年　カラー　8ミリ　44分　監督　計良美緒　'91年グランプリ

**9月7日（土）**

14：15　「この窓は君のもの」
1994年　カラー　16ミリ　95分　監督　古厩智之　第8回PFFスカラシップ

16：30　「裸足のピクニック」
1993年　カラー　16ミリ　92分　監督　矢口史靖　第7回PFFスカラシップ

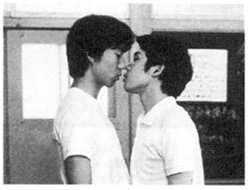
19：00　「渚のシンドバッド」
1995年　カラー　35ミリ　129分　監督　橋口亮輔

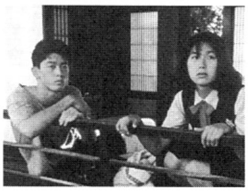
**9月8日（日）**

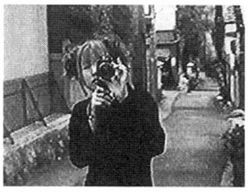
12：00　古厩智之・映画講座「映画を撮ろうと思うとなぜ映画にならないのか」
上映作品「走るぜ」1993年　カラー　１６ミリ　２９分　監督　古厩智之

14：15　橋口亮輔・映画講座「僕の見てきた映画、僕の行った場所」
上映作品「橋口亮輔監督未公開ビデオ集」

16：30　矢口史靖・映画講座「ひとりでも映画は撮れる」
上映作品「ワンピース・プロジェクト」　1994年　カラー　ビデオ　監督　矢口史靖







## 特別企画 アジア映画人会議

アジア各国の監督、映画評論家、アーカイヴ関係者等の映画専門家による「アジア映画の普及と振興」をテーマにシンポジウムを開催

会　期：9月13日（金）～9月15日（日）

観覧料：無料
参加希望の方は往復ハガキに住所・氏名・電話番号・参加希望日を記入して、9月7日(土)までに福岡市総合図書館映像資料課まで申し込んで下さい。参加希望者多数の場合は抽選を行います。

主　催：アジア映画人会議実行委員会・福岡市総合図書館

### プログラム

**9月13日（金）**

13：30　基調講演　佐藤忠男（映画評論家）

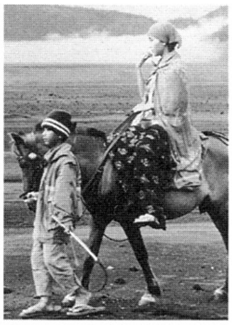
14：10　シンポジウム「アジア映画の振興と映画祭の役割」
パネリスト　ジネット・ポーソン（アメリカ　ハワイ映画祭ディレクター）
モハマド・アッタバイ（イラン　ファラビ財団国際部）
マルティ・サハイ（インド　インド映画祭ディレクター）
佐藤忠男（日本　アジアフォーカス・福岡映画祭ディレクター）
石坂健治（日本　国際交流基金アジア文化センター・司会）

参考上映　「サザンウィンズ」
1993年　カラー　112分　アルゴプロジェクト
監督　スラメット・ラハルジョ・ダロット　チュート・ソンスィ
マイク・デ・レオン　鴻上尚史
インドネシア、タイ、フィリピン、日本の4人の監督が「急激に変化を遂げつつあるア ジアの今」を共通のテーマとして競作したユニークなオムニバス映画。英語字幕付き

**9月14日（土）**

13：30　シンポジウム「日本映画はどうみられているか～アジアの中の日本～」
パネリスト　スレシュ・シャブリア（インド　インドフィルムアーカイヴ館長）
マルリ・ディアス・アワヤ（フィリピン　映画監督）
サリム・サイド（インドネシア　ジャカルタ芸術協会会長）
張昌彦（台湾　映画評論家　司会）
梁木靖弘（九州大谷短期大学助教授）

参考上映　「シコふんじゃった」
1991年　カラー　103分　東宝＝大映　監督　周防正行
「Shall We ダンス？」で大ヒットを飛ばした周防監督の出世作。各国映画祭に招待され 海外での評価も高い。英語字幕付き



**9月15日（日）**

13：30　シンポジウム
「アジア映画の保存のために」
パネリスト　スレシュ・シャブリア（インド　インドフィルムアーカイヴ館長）
シャリフ・アハマッド（マレイシア　マレイシア映画振興公社ディレクター）
シンシア・リウ（香港　香港電影資料館館長）予定
シン・ウシク（韓国　韓国フィルムアーカイヴ理事長）予定
大場正敏（日本　東京国立近代美術館フィルムセンター主幹）予定
八尋義幸（日本　福岡市総合図書館映像資料課学芸員　司会）

参考上映　「KALIYA MARPAN」　1919年　モノクロサイレント　48分　インド

## 特　集 50年代の日本映画

戦後日本映画が初めて世界の注目を浴びた1950年代。次々に登場する巨匠たちの作品群により、日本映画の黄金時代であった50年代を振り返り、時代と映画について検証する。

会　期：9月25日（水）～9月29日（日）

観覧料：500円（大人）　400円（大学生・高校生）　300円（中学生・小学生）
定員・各回入替制。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

### 上映作品

**9月25日(水)14：00／19：00**

**雨月物語**

1953年　モノクロ　96分　大映

監督　溝口健二

上田秋成の古典怪奇小説集「雨月物語」を川口松太郎が翻案し、小津、黒澤と並び世界的に評価の高い映画監督、溝口健二が作り上げた日本映画史に残る名作。ヴェネチア映画祭銀獅子賞受賞。

**9月26日(木)14：00／19：00**

**浮雲**

1955年　モノクロ　123分　東宝

監督　成瀬巳喜男

林芙美子の有名小説の映画化。優柔不断でどうしようもない男と、業に縛られ男との関係を断ち切れない女。堕ちていく一組の男女を描いた本編は、主演の森雅之、高峰秀子そして監督の成瀬巳喜男の代表作となった。

**9月27日(金)14：00／19：00**

**夫婦善哉**

1955年　モノクロ　120分　東宝

大阪・船場の跡取り息子・柳吉（森繁久彌）は、芸者・蝶子（淡島千景）と駆け落ちし勘当される。無類のテンポの良さで、大阪ならではの男女の機微があますところなく表現された人間喜劇の傑作。

**9月28日(土)14：00／19：00**

**ビルマの竪琴**

1956年　モノクロ　116分　日活

監督　市川崑

第二次世界大戦のビルマを舞台に、終戦時英軍の捕虜になった井上小隊。山にこもって抵抗を続ける他の日本兵の説得に向かった隊員の水島上等兵はついに収容所へは戻ってこなかった。名匠・市川崑の代表作。

**9月29日(日)11：00／15：00**

**二十四の瞳**

1954年　モノクロ　156分　松竹

監督　木下恵介

昭和3年に小豆島の分教場に赴任してきた女教師（高峰秀子）と12人の新入生との戦争をこえた18年にも及ぶ心の交流を描く。この年黒澤の「七人の侍」を押さえ、キネ旬年間ベスト1に輝いた不朽の名作。

## 特別企画　韓国映画祭～知られざる映画大国～第2期：韓国映画の流れⅠ

2年間・4期にわたり、韓国映画の全貌に迫る上映会の第2期目。今回は60年代の本邦初公開作品を中心に、福岡市総合図書館映像ホール・東映グランドの2会場にまたがり一挙上映いたします。（東映グランドの上映日程はウラ面をごらん下さい。）

会　期：9月14日（土）～9月23日（祝・月）
9月14日、9月15日は東映グランドにて上映、9月16日より福岡市総合図書館映像ホールにて開催。

会　場：東映グランド・福岡市総合図書館映像ホール

休館日：9月17日

観覧料：1,000円（当日　一般）　800円（前売り　一般）3,500円（5回券）　6,000円（10回券）
定員各回入替制。前売り券は市内有名プレイガイドにて発売。5回券、10回券はチケットぴあ、ローソンチケットのみ発売。

主　催：韓国映画祭実行委員会・福岡市総合図書館・朝日新聞社・KBC九州朝日放送

後　援：駐日大韓民国大使館・韓国文化院福岡市在日本大韓民国民団中央本部・駐福岡大韓民国総領事館

※「韓国映画祭・第2期：韓国映画の流れⅠ」は映像ホール会場、東映グランド会場ともアジアフォーカス・福岡映画祭'96のチケットでもご覧いただけます。（ただし韓国映画祭・第2期：韓国映画の流れⅠのチケットではアジアフォーカス・福岡映画祭'96のプログラムはご覧になれません。ご注意下さい。）

## 上映作品

### 9月16日(月)13：15
**常緑樹**（東映グランドでも上映）
1961年　白黒　143分
監督　シン・サンオク

植民地時代の1920年代から30年代に盛んだった農民啓蒙運動を、運動に情熱を燃やす男女の恋愛を織り込み描いた作品。大鐘賞、釜日賞、アジア映画祭で主演女優賞他各賞受賞。

### 9月16日(月)16：00
**誤発弾**（東映グランドでも上映）
1961年　白黒　105分
監督　ユ・ヒョンモク

朝鮮戦争で人生を狂わされ、希望のない生活を送るある一家の絶望と再生への希望を問う力作であり、今なお韓国映画史上屈指の問題作として、高い評価を得ている作品。

### 9月18日(水)13：15
**甕を作る老人**（東映グランドでも上映）
1969年　カラー　88分
監督　チェ・ハウォン

人里離れた山奥で甕を作りながら一人で暮らす老人のもとに一人の女性が現れる。主人公の老人の生きざまを、深い情念で描く。土俗的で美しい悲劇。文芸作品を得意とするチェ・ハウォンの代表作。

### 9月18日(水)／9月21日(土)16：00
**嫁入りの日**
1956年　白黒　78分
監督　イ・ビョンイル

原作は日帝時代末期に発表された作品。民話的なドラマの中に、社会の矛盾や腐敗を風刺的に描き、その世俗主義を嘲笑したこの作品は、第4回アジア映画祭で喜劇特別賞を受賞、韓国映画が国際的に評価される契機となった。

### 9月18日(水)19：00
**荷馬車**
1961年　白黒　95分
監督　カン・テジン

妻に先立たれ、貧しいながらも子供達には教育をうけさせようと、黙々と働く馬夫の生活を浪漫的リアリズムで描いた心温まる秀作。第11回ベルリン映画祭特別銀熊賞受賞。

### 9月19日(木)／9月23日(月)13:15
**お金**
1958年　白黒　119分
監督　キム・ソドン

朝鮮戦争が休戦になり平和になった後、都市と農村を襲う貧困を克明なリアリズムで描きだす作品。純粋で善良な農民を演じるキム・スンホの名演が絶品である。

### 9月19日(木)16:00／9月22日(日)10:30
**心の故郷**
1949年　白黒　77分
監督　ユン・ヨンギュ

山寺の老僧に育てられている孤児の少年の心情を、夢と幻想を交差させながら繊細に描いた文芸作品。大女優・チェ・ウニはこの作品の未亡人役で一躍有名になった。

### 9月19日(木)19：00
**ロマンス・パパ**
1960年　白黒、125分
監督　シン・サンオク

競争社会の中である日突然会社を解雇された家長の悲哀を、格調高くユーモラスに描くホームドラマ。最優秀国産映画賞、釜日映画賞、第7回アジア映画祭主演男優賞、受賞

### 9月20日(金)13：15／9月23日(月)16：00
**金薬局の娘たち**
1963年　白黒　107分
監督　ユ・ヒョンモク

19世紀後半から1930年代に至る歴史の激動期に翻弄される、金薬局の女性たちの悲劇。転換期に生きる人間を一貫して描きつづけている巨匠ユ・ヒョンモクの代表作。

### 9月20日(金)16：00
**朴さん**（東映グランドでも上映）
1960年　白黒　139分
監督　カン・テジン

お人好しだが頑固な父親を中心に、成長した子供たちの仕事や結婚問題を描いた家族メロドラマ。この作品以後家長を主人公にした庶民派映画が流行する。父親役の金勝鎬は第8回アジア映画祭主演男優賞を受賞。

### 9月20日(金)19：00
**ノダジ**
1961年　白黒　127分
監督　チョン・チャンファ

金の鉱脈を発見した善良な山男が大量の砂金を持って町におりてきたことから巻き起こる人情コメディ。物語は砂金をめぐるやくざの暗躍や銃撃戦などを含めた大娯楽作に仕上がっている。

### 9月21日(土)13：15
**雨のめぐり逢い**
1966年　白黒　100分
監督　チョン・ジヌ

60年代中頃、朝鮮戦争の痕跡が残る韓国で、若者たちの愛や希望、挫折や怒りを描く青春映画の一編。主演女優のムン・ヒはこの映画の演技が評価され、韓国の演劇・映画祭新人賞を受賞。

### 9月21日(土)19：00
**自由万歳**
1946年　白黒　51分
監督　チェ・インギュ

韓国独立後最初に完成した長編劇映画であり、現存する最も古い韓国映画である本作品は、チェ・インギュが獄中で綴ったメモを基に脚本化されており、民族の情熱がみなぎる名作となっている。

### 9月22日(日)13：15
**ピアコル**
1955年　白黒　107分
監督　イ・ガンチョン

朝鮮戦争休戦後、パルチザン討伐作戦に参戦した作家の金宗煥と監督のイ・ガンチョンが、パルチザンの記録や手記によって実態を取材、イデオロギーと人間の葛藤を描いた衝撃作。

### 9月22日(日)16：00
**望夫石（マンブソク）**
1963年　白黒　124分
監督　イム・グォンテク

李朝時代の国王、英祖在位末期の王朝を舞台に繰り広げられる次期国王を巡る陰謀劇。イム・グォンテクの後年の「開闢」などにつながる時代劇として興味深い。

### 9月23日(月)10：30
**米**
1963年　白黒　125分
監督　シン・サンオク

朝鮮戦争後の貧しい山村で、父親の死をきっかけに村人たちと水田を作るために立ち上がる青年・ヨン。朝鮮戦争後、復興に踏み出した農村の姿を前向きに力強く描く力作。

### 東映グランドのみ上映
**成春香**
1961年　白黒　109分
監督　シン・サンオク

李朝時代に書かれた作者不詳の小説「春香伝」は愛の古典として、韓国人なら誰でも知っている作品であり、23年以来現在まで12回映画化されている。本作も大ヒットしており、62年に日本でも公開されている。

### 東映グランドのみ上映
**離れの客とお母さん**
1961年　白黒　103分
監督　シン・サンオク

未亡人と亡き夫の友人の画家との恋と苦悩が、天真爛漫な子供の視点と伝統的な倫理観に縛られた大人の視点の対比によって描き出されていく。第1回大鐘賞監督賞ほか多数受賞の名作。

### 東映グランドのみ上映
**修学旅行**
1969年　カラー　103分
監督　ユ・ヒョンモク

ある小さな島に赴任した教師が、島の中で貧しく暮らし、外の世界をまったく知らない島の子供たちのために、ソウルへの修学旅行を計画する。テヘラン国際映画祭児童部門特別賞受賞。

### 東映グランドのみ上映
**帰らざる海兵**
1963年　白黒　110分
監督　イ・マニ

時は朝鮮戦争、韓国海兵隊の分隊は仁川上陸作戦後ソウル奪還を目指し、進撃をつづけるが・・・。朝鮮戦争の悲劇をイデオロギーを越えたヒューマニズムの視点で描く傑作。

## 映像ホールスケジュール

| 月 | 日 | 曜日 | 企画 | 内容 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 1 | 日 | | アジアフォーカス・福岡映画祭アンコール上映 11：00 心の香り | アジアフォーカス・福岡映画祭アンコール上映 15：00 心の香り | |
| | 2 | 月 | | 休館日 | | |
| | 3 | 火 | | 上映はありません | | |
| | 4 | 水 | ぴあフェスティバルin福岡 | PFF受賞作セレクション 16：30 寮内厳粛 他 | 石井聰亙スペシャル 19：00 シャッフル Tokyo Blood | |
| | 5 | 木 | ぴあフェスティバルin福岡 | PFF受賞作セレクション 14：15 東村山8ミリ劇場 他 | PFF受賞作セレクション 16：30 魚の眼 他 | PFF受賞作セレクション 19：00 三角測量 他 |
| | 6 | 金 | ぴあフェスティバルin福岡 | PFF受賞作セレクション 14：15 ちまたに雨のふるごとく 他 | PFF受賞作セレクション 16：30 灼熱のドッジボール 他 | PFF受賞作セレクション 19：00 花 他 |
| | 7 | 土 | ぴあフェスティバルin福岡 | この窓は君のもの 14：15 | 裸足のピクニック 16：30 | 渚のシンドバッド 19：00 |
| | 8 | 日 | ぴあフェスティバルin福岡 | 古厩智之映画講座 12：00 | 橋口亮輔映画講座 14：15 | 矢口史靖・映画講座 16：30 |
| | 9 | 月 | | 休館日 | | |
| | 10 | 火 | | 上映はありません | | |
| | 11 | 水 | | 上映はありません | | |
| | 12 | 木 | | 上映はありません | | |
| | 13 | 金 | アジア映画人会議 | 基調講演 13：30 | シンポジウム 14：10 アジア映画の振興と映画祭の役割 | 映画上映 サザンウィンズ |
| | 14 | 土 | アジア映画人会議 | シンポジウム 13：30 日本映画はどうみられているか～アジアの中の日本～ | 映画上映 シコふんじゃった | |
| | 15 | 日 | アジア映画人会議 | シンポジウム 13：30 アジア映画の保存のために | 上映作品未定（アジア映画を予定） | |
| | 16 | 月 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 常緑樹 13：15 | 誤発弾 16：00 | |
| | 17 | 火 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 休館日 | | |
| | 18 | 水 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 甕を作る老人 13：15 | 嫁入りの日 16：00 | 荷馬車 19：00 |
| | 19 | 木 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | お金 13：15 | 心の故郷 16：00 | ロマンス・パパ 19：00 |
| | 20 | 金 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 金薬局の娘たち 13：15 | 朴さん 16：00 | ノダジ 19：00 |
| | 21 | 土 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 雨のめぐり逢い 13：15 | 嫁入りの日 16：00 | 自由万歳 19：00 |
| | 22 | 日 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 心の故郷 10：30 | ピアコル 13：15 | 望夫石(マンブソク) 16：00 |
| | 23 | 月 | 韓国映画祭第2期：韓国映画の流れI～知られざる映画大国～ | 米 10：30 | お金 13：15 | 金薬局の娘たち 16：00 |
| | 24 | 火 | | 休館日 | | |
| | 25 | 水 | 50年代の日本映画 | 雨月物語 14：00 | 雨月物語 19：00 | |
| | 26 | 木 | 50年代の日本映画 | 浮雲 14：00 | 浮雲 19：00 | |
| | 27 | 金 | 50年代の日本映画 | 夫婦善哉 14：00 | 夫婦善哉 19：00 | |
| | 28 | 土 | 50年代の日本映画 | ビルマの竪琴 14：00 | ビルマの竪琴 19：00 | |
| | 29 | 日 | 50年代の日本映画 | 二十四の瞳 11：00 | 二十四の瞳 15：00 | |
| | 30 | 月 | | 月末休館日 | | |

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますのでご了承下さい。

## 韓国映画祭に関する注意事項

### 東映グランド上映日程

9月14日（土）
10：30～　成春香
13：15～　離れの客とお母さん
16：00～　誤発弾
19：00～　常緑樹

9月15日（日）
10：30～　修学旅行
13：15～　朴さん
16：00～　帰らざる海兵
19：00～　甕を作る老人

ご注意
「アジアフォーカス・福岡映画祭'96」のチケットは、「韓国映画祭・第2期：韓国映画の流れI」のプログラムでもご利用なれます。ただし「韓国映画祭・第2期：韓国映画の流れI」のチケットは「アジアフォーカス・福岡映画祭'96」のプログラムではご利用になれません。
東映グランドでの「韓国映画祭・第2期：韓国映画の流れI」の上映は9月14日、9月15日の2日間だけです。

## その他の企画

**福岡藩大組　伊丹氏展**

福岡藩の長崎警備や治水工事、軍事関係や産業関係等中心に展示。

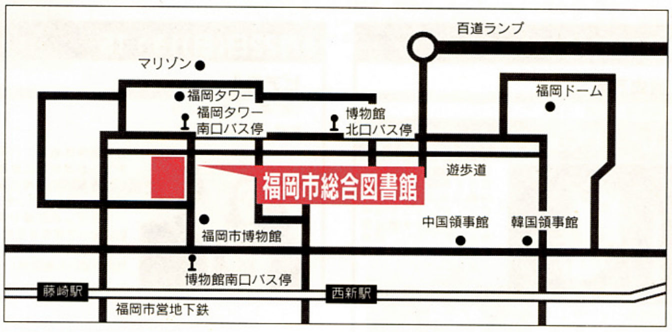
●会　期：9月1日（日）～9月29日（日）

## 映像ライブラリーNEWS送付のご案内

ただ今ご覧の「映像ライブラリーＮＥＷＳ」及び映像ホール等で今後行われる各種イベントの情報を毎月（来年度３月号まで）無料で郵送いたします。（ただし要切手代）ご希望の方は希望の郵送開始月及び住所・氏名を明記の上、郵送手数料（90円×'97年3月までの月数：例　10月号からなら90円×6ヶ月=540円）分の切手を同封して、下記の宛先まで送付してください。希望月より'97年3月まで毎月郵送いたします。

**宛先：814　福岡市早良区百道浜3丁目7番1号**
**福岡市総合図書館映像資料課まで**

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。
詳しくはTEL (092)852-0600 (代) 福岡市総合図書館映像資料課まで




交通機関
地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩１５分
西鉄バス博物館南口および福岡タワー南口バス停留所より１分
都市高速百道ランプより車で２分


Fukuoka City Public Library Movie Hall
**福岡市総合図書館映像ホール**
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

●お問い合わせは
☎ (092) 852-0600